

ながの山にある城の歴史トレッキングガイド

まきのしま 牧之島 城跡散策

三方を犀川に囲まれた
甲州流の山城

信州新町
標高468m



① 馬場信房之城跡の石碑 ▶ 武田信玄の命で牧之島城を築いた馬場信房の名が刻まれている。



② 千人枡形 ▶ 土塁上に、兵をひそませるために設けられた空間。



④ 三日月堀 ▶ 甲州流の三日月形の堀がよく残っている。



③ 丸馬出し ▶ 防御目的で設けられる「馬出し」が丸い形をしており、武田氏がよく用いた。



⑤ 本丸跡 ▶ 本丸跡は土塁に囲まれており、その形をよく残している。現在は桜などが植栽されている。

牧之島城跡について

武田信玄が馬場信房(信春)に築かせた城。安曇野から善光寺平に繋がる街道を監視・警備する拠点として、牧城を改修して築城した。城域の入口で、牧田中に通じる道周辺を城下とし、3方は犀川で囲まれ、半島状に突き出した根元を堀で断ち切っている。このような地形に築かれた城は、甲州流築城術による城である。

現在は公園として整備されており、本丸北西部の高い土塁上には「馬場信房之城跡の石碑」が建てられているほか、三日月堀や丸馬出しなどの遺構が残っている。城跡から2kmほど上ったところにある「上の平展望台」は、緑に囲まれた道中を楽しみ、天気の良い日は北アルプスが一望できる。



ながの山城あるき
トレッキングガイド
WEBサイトはこちら